

チャレンジショップ4店同時オープンにより、近隣観光地から観光客を商店街に誘致。

太宰府市商工会

機関名	太宰府市商工会		
所在地	太宰府市観世音寺1-2-1		
電話番号	092-922-4345		
地域概要	(1)管内人口 66千人	(2)管内商店街数 5商店街	
事業の対象となる商店街の概要	(1)商店街数 1	(2)会員数 15商店	
	(3)空店舗率 28%	(4)大型店空き店舗数 0	
	宰府商店会		
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 空き店舗対策事業 総事業費 3,600千円

・チャレンジショップ事業

【事業実施内容】

1. 背景

太宰府市は、福岡市の南東約16kmに位置し、北に四王寺山、東に宝満山があり、市を縦貫する御笠川は、宝満山に源を発して市街地を通り、途中鷺田川、大佐野川と合流し、末は博多湾に注いでいる。

約1300年前、当時の太宰府には、九州全体を治める「大宰府」（オオミコトモチノツカサ）という大きな役所が置かれ、約500年の長い間、その役割を果たしていた。今もその歴史をしのばせる大宰府跡、水城跡、観世音寺、太宰府天満宮など市内に数多くの史跡や名所が存在し、年間約600万人の観光客が訪れている。

昭和30年に太宰府町と水城村が合併して太宰府町となった当時は、人口が13,264人であったが、その後福岡都市圏の膨張、大規模開発による住宅化の進行、大学の立地、交通網の整備などにより人口は急増し、昭和57年に全国では651番目（県内では21番目）の市制を施行した。平成16年9月時点の人口は、約66,000人で、増加率の面では落ち着きつつあるものの、「史跡や緑にめぐまれた福岡都市圏の住宅都市」として発展している。



太宰府市位置図（太宰府市HPより）

太宰府市商工会

太宰府市内の商店街は、近隣への大型店の出店や消費者ニーズの変化等により、商店等の廃業が続出し空き店舗が増えている。こうした中で平成 17 年九州国立博物館の開館を控え、観光客や地元客が満足できる買物の場を提供することが太宰府の活性化につながるため、空き店舗に魅力あるお店を誘致することが必要であった。

このような状況をふまえ、平成 16 年度国及び県の補助制度を活用して空き店舗対策事業を実施することとなった。

2. 事業内容

(1) チャレンジショップ事業

①募集内容

1) 出店場所等

- ・ 宰府地区（2 店舗）
- ・ 五条地区（2 店舗）
- ・ 青葉長浦台商店街（1 店舗）

2) 出店条件

- ・ 契約期間：平成 16 年 10 月 1 日～平成 17 年 9 月 30 日
- ・ 対象業種：宰府地区 観光客対象の店
五条地区 若者対象の店
青葉長浦台商店街 生鮮食品の店
- ・ 補助金：半年間は家賃の 3 分の 2（上限 5 万円）の補助を行なう。
- ・ 出店者負担：電気代、水道代の経費は出店者負担とする。

②広報方法等

1) 有料広告：西日本新聞への広告掲載

2) 記事及び放映

- ・ 記事：西日本新聞、朝日新聞
- ・ 放映：F B S 福岡放送めんたいワイドニュース枠
T V Q 九州放送 NOW

3) ホームページへの掲載：太宰府市商工会 HP への掲載

4) チラシの配布：配布枚数 各行政機関等へ合計 740 枚配布

③申込状況・審査結果

1) 問合せ：53 件 申込：12 件（宰府地区 10 件・五条地区 2 件）

2) 審査結果：宰府地区 4 店舗・五条地区 1 店舗（辞退）

※募集は、宰府地区に 2 店舗、五条地区に 2 店舗、青葉長浦台商店街に 1 店舗であったが、申込は宰府地区に 10 件、五条地区 2 に件という状況となり、審査結果により宰府地区の 4 店舗、五条地区の 1 店舗が選出された。五条地区の 1 店舗が辞退したため、結果として宰府地区の 4 店舗が観光客対象の店として出店することになった。

④支援内容

契約期間は1年間である。経営について未経験の方には経営手法や接客方法などの助言・指導を行った。

⑤出店者及び営業状況

1) 天然酵母パンの店 パン工房 森のぶどう

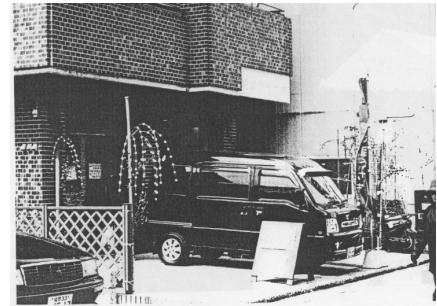
- ・店舗面積：5.8坪
- ・営業時間：午前10時～午後6時（定休日未定）
- ・取扱商品：パン各種、喫茶（コーヒー）
- ・1日の平均来店客数：30名 ・客単価：700円
- ・来店客の割合：地元客8割、観光客1割、その他1割

2) オリジナル雑貨 オリーブ

- ・店舗面積：6.6坪
- ・営業時間：午前11時～午後6時（定休日：祭日、日曜日）
- ・取扱商品：婦人服、エプロン、女性用肌着、おしゃれ雑貨等
- ・1日の平均来店客数：14名 ・客単価：1,800円
- ・来店客の割合：地元客9割、観光客1割

3) 友禅ギャラリー 蛇の目うさぎ

- ・店舗面積：12.5坪
- ・営業時間：午前9時～午後6時30分
（定休日：不定休）
- ・取扱商品：友禅染のタペストリー、和雑貨、おしゃれ雑貨、陶磁器等
- ・1日の平均来店客数：10名
- ・客単価：4,000円
- ・来店客の割合：地元客5割、観光客2割、その他3割



友禅ギャラリー 蛇の目うさぎ

4) 八女・立花物産直売の店 立花屋

- ・店舗面積：7.5坪
- ・営業時間：午前10時～午後6時
（定休日：不定休）
- ・取扱商品：たけのこ製品、お茶、味噌、黒酢、蜂蜜、梅製品等
- ・1日の平均来店客数：15名
- ・客単価：1,000円
- ・来店客の割合：地元客7割、観光客3割



立花屋（中央店舗）

※現在は、4店舗の内3店舗（森のぶどう、オリーブ、蛇の目うさぎ）が事業を継続している。

(2) イベント事業

① チャレンジショップオープンイベント（平成16年10月1日、2日）

1) イベント内容

- ・太宰府館前で宰府商店会の協力で甘酒の無料配布サービス実施
- ・チャレンジショップの店頭で先着250名に紅白饅頭の無料配布
- ・ピエロのバルーンショー
- ・チャレンジショップ各店独自でオープン記念サービス実施

② 太宰府天満宮曲水の宴に併せたイベント
（平成17年3月5日、6日）

曲水の宴、門前祭りに併せて、太宰府館イベント広場で商工会商業部会、宰府商店会の協力を得てイベントを実施しチャレンジショップへの誘客を図った。

1) イベント内容

- ・太宰府館のイベント広場においてミニ商業まつりの実施
- ・太宰府館前で宰府商店会の協力で甘酒の無料配布サービス実施
- ・餅つき
- ・チャレンジショップ各店独自でオープン記念のサービス実施



4店舗の共通チラシ

【 効 果 】

1. 商店街の組織

オープンした4店はすべて商店会へ入会した。その結果、新たに入会した4店の提案などもあり、従来の会員の意識が変わりつつあり、今までは日曜日に店は閉めていたが、隔週の開店や17年度から会費を集めて商店会のイベント等の活動を積極的に行なった。

2. 商店街の認知度

2回実施したチャレンジショップPRイベントや、オープンイベント等がマスコミに取り上げられ、またチラシ配布の効果もあり商店街の認知度が上がった。

3. 来街者の行動

宰府商店街に一举に4店舗のチャレンジショップがオープンしたことや、商店会で実施される季節毎のイベント（七夕の飾り付け、お雛様の展示等）により、以前より商店街への来店客が確実に増えている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 更なる空き店舗対策の実施

今回は4店舗がオープンしたが、宰府商店会にはまだ空き店舗が6店舗ある。今後、その空き店舗について賃貸の有無や条件等を調査して、引き続き募集していく必要がある。

2. 観光客の取り込み

本事業を実施した結果、商店街への来店客は増えたが、太宰府天満宮へ来られる観光客を十分に誘引しているとはいえない。今後は、空き店舗に新たな店の誘致を図ることと、商店街で継続的に実施している季節ごとのイベント（お雛様、七夕かざり、鯉のぼり等）を充実して、商店街へ観光客を呼びこむ必要がある。

【事業の実施ポイント】

通常のチャレンジショップ事業の場合は、空き店舗を事業主体が借り受け、半年間又は一年間という期間を設けて、その期間補助・支援等を行い期間終了後は場所を移して新たに店舗運営をはじめ（もしくは事業を断念する）というのが一般的であろう。しかし、事業の効果を上げるためには、入店者募集の際に、経営者がその店舗の場所に定住して、期間終了後も継続して店舗運営をすることが条件とする必要がある。チャレンジショップ入店者の気持ちとして、店舗運営のお試し期間という感覚ではうまくいかない。

【 関 連 U R L 】

太宰府市商工会HP <http://www.dazaifu.com/>